

「星のや 京都」 - 庭師によるとっておきのおもてなし -

「星のや 京都」の概要

「星のや 京都」は、京都・嵐山にある和の高級リゾートである。約 100 年前に作られた旅館を改修し、平成 21 年 (2009) に竣工した。庭園内は、職人の伝統技術と厳選した素材を駆使し、現代のデザインを取り入れ、伝統とモダンが共存した景色となっている。竣工から 5 年目を迎えた現在、庭園内の景色は深みを増し、四季折々の変化がゲストを楽しませている。



水の庭



奥の庭



景色に溶け込む庭師

スタッフと一体となった庭師によるおもてなし

「星のや 京都」では、ゲストのプライバシーを尊重したさりげない気遣い、季節毎に趣向を凝らした設えの中にスタッフの「おもてなしの心」が込められている。「星のや 京都」に常駐している庭師もまたスタッフと同じ気持ちでゲストをお迎えしている。ハッピーを身にまとい、手ボウキで掃除をする庭師の姿は景色の一部となっている。滝の流れ落ちる音、小鳥のさえずり、風に揺れる木々のささやき等と共に庭師の手ボウキやハサミの音もまたゲストの耳に心地良く響く。何気ない庭師の所作ひとつひとつからも「おもてなしの心」を伝えている。竣工から現在まで、庭師はスタッフの方々と信頼関係を築き、単なる作業員ではなく景色を醸造させるための大切な存在となっている。庭師がいてこそ、庭は最高のおもてなし空間となる。

(1) ハード面でのおもてなし - 無作為の作意 -

竣工時から現在まで「星のや 京都」ではゲストにとってより魅力的に見える景色創りのために創意工夫を続けている。

1) 竹林の育成

改修工事における竹の植栽では、根に養分を蓄え新しい竹が生えやすいようにするために、竹の芯を止めた状態で施工をしなければならなかった (写真①)。竣工時は竹林の印象が薄かったが、現在では新しい竹が増え趣深い景色になりつつある (写真②)。竣工時から現在に至るまでの竹林の生長をスタッフ・ゲストの方と共に楽しむことができた。また通常は掃除をする竹の枯葉をあえて残すことでさらに竹林の風情を醸し出している (写真③、④)。竹の経年変化と庭師の作意によって自然な景色が創りあげられている。

2) 苔のストックヤード

「星のや 京都」の敷地内に苔のストックヤードを設け、苔を育成している (写真⑤)。苔の張替え時に新しい苔を購入するのではなくストックヤードの苔を使用することにより、同じ環境で同じ年月を過ごした苔を張ることができる。庭園内の色々な場所に対応できるように様々な年代の苔を用意している。その結果、張り替えた場所と他の場所とで違和感のない景色となっている。

このような人工的な作為の足跡を感じさせない、さりげなく自然にみえる創作 - 「無作為の作意」 - によって極上のおもてなし空間が成立している。



写真① 竣工時の竹林



写真② 現在の竹林



写真③ 竣工時の竹林の足元



写真④ 現在の竹林の足元



写真⑤ 苔のストックヤード

「星のや 京都」 - 庭師によるとっておきのおもてなし -

(2) ソフト面でのおもてなし

ハード面のおもてなしでは庭師は舞台裏の黒子のような存在であるが、時には庭師が舞台上がりゲストをお迎えする。

1) 庭園内ディスプレイ - 庭師の遊び心 × おもてなし -

「星のや 京都」では季節毎にディスプレイを設置している。自然の素材に庭師の遊び心が加わりゲストを楽しませる演出となっている。毎年お正月には池の中に設置されたステージ

に干支を表現したディスプレイを行っている。卯年のお正月には写真のようなディスプレイを作成した。横からはバラバラに竹筒を並べたように見えるが、正面から見ると「卯」の字に見えるように配置している。



2) 庭園案内 - 庭師の知識 × おもてなし -

庭師によるゲストへの庭園案内が好評となっている。事前に参加者を募集し、朝の9時から30分間、ゲストと共に庭園を散策している（案内ルートは3ページ目に記載）。庭師から見た庭園の見どころや樹木の手入れ方法を紹介しながら庭園へのこだわり・熱い想いを語っている。ゲストの方にはリピーターの方も多く「星のや 京都」のスタッフの方々が大切にしている存在である。庭園案内はリピーターの方にとって宿泊する度に変化・生長していく庭園を庭師と共有しながら楽しむことができる貴重な時間である。庭師の目線で庭園を歩くことで、普段何気なく見ている庭の見方が変わる。庭師の知識と経験を活かしたおもてなしによって、ゲストが庭で過ごす時間をより一層充実したものにしている。



庭園案内の様子

竣工時の庭園内（左）と現在の庭園内（右）：竣工時は枝先が切り詰められて違和感があったモミジだが自然樹形に戻るよう手入れを行い、柔らかなモミジのトンネルに生長した。

3) 鉢庭づくり - 庭師の技術 × おもてなし -

鉢の中に小さな庭園をつくる「鉢庭づくりイベント」も行っている。庭師が地形のつくり方や石・樹木の配置のコツ等をゲストに教えながら世界で一つだけの庭づくりを体験してもらう。この鉢庭づくりを通して庭師の技術や作庭の奥深さ、楽しさを伝えている。庭師とゲストがコミュニケーションをとりながら鉢庭を完成させる様子は双方が一体となったおもてなしの時間となっている。完成した鉢庭は記念品として持ち帰ることができ、旅の大切な思い出となる。



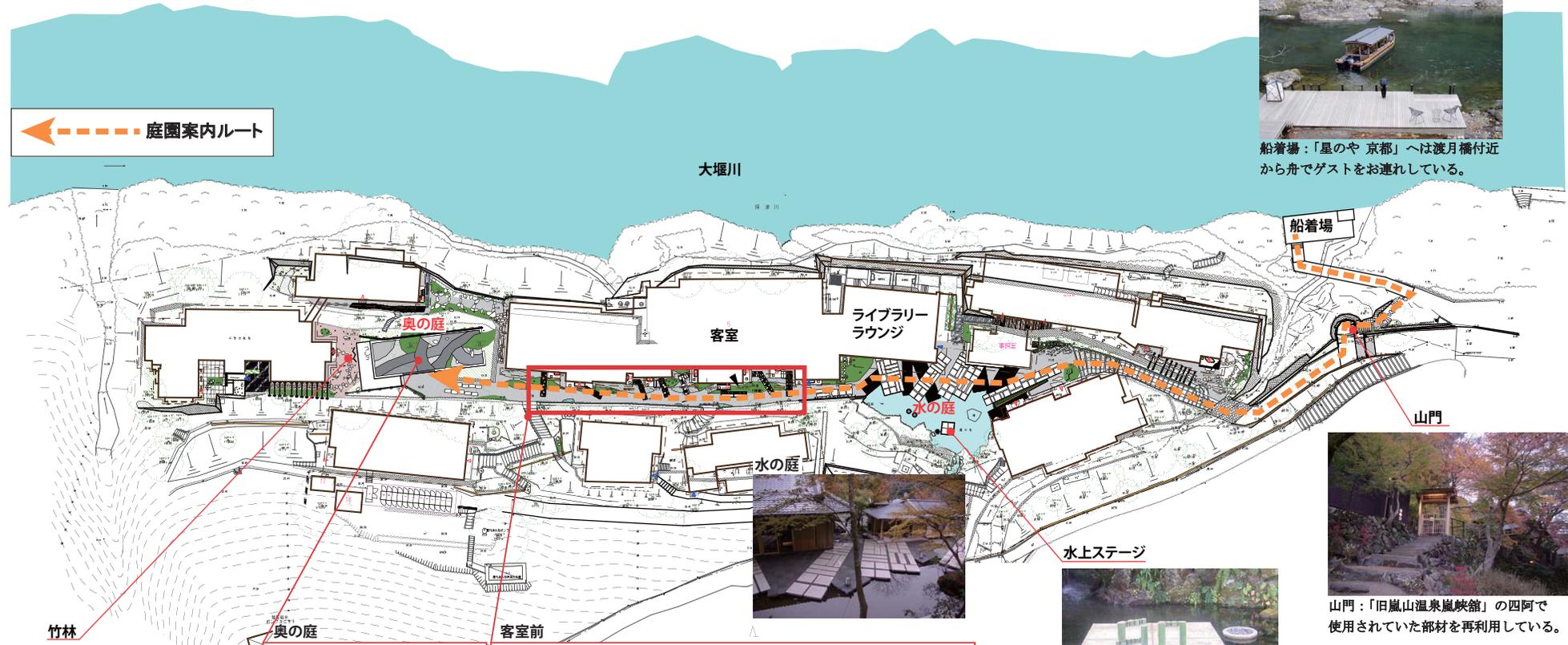
鉢庭づくりイベント①：樹木を選んでいる様子

鉢庭づくりイベント②：庭師と作庭している様子

完成した鉢庭

「星のや 京都」 - 庭師によるとっておきのおきのおもてなし -

■「星のや 京都」 全体平面図



船着場：「星のや 京都」へは渡月橋付近から舟でゲストをお連れしている。



山門：「旧嵐山温泉嵐峽館」の四阿で使用されていた部材を再利用している。



竹林

奥の庭

客室前



客室入口前の様子：客室前の延段は素材、デザインが客室毎に異なっている。